陳　情　文　書　表　　（令和　８　年１１月１８日受理）

受　理　番　号	件　　名
陳情第５０号	調布市議会は陳情審査を適時適正に行うことを求める陳情
提　出　者　の 住　所　・　氏　名 **※非公開情報**	
付　託　委　員　会	建設委員会

※原文のまま記載

（要旨）

2026年９月に開催された令和８年第３回定例会に提出された陳情第45号「調布基地跡地留保地を「（仮称）調布市防災・スポーツレクリエーション公園」として整備することに関連する「調布市都市公園条例の一部を改正する条例」の慎重審議を求める陳情」は、付託された建設委員会において９月17日に審査され、審議未了となりました。この陳情審査には民主主義や住民自治を揺るがす、看過できない重大な問題がありますので、本陳情を提出し、調布市議会における条例や請願陳情等の適時適正な審議及び審査並びにその順序の適正化を促すものです。

陳情第45号は、令和８年第３回定例会に提出された市長提出議案第67号「調布市都市公園条例の一部を改正する条例」案の慎重審議を求める陳情です。当該条例は９月14日の建設委員会で審議され、条例案の後の９月17日に審査された陳情第45号は意味のないものとされました。それを端的に表すものは、「（略）調布基地跡地留保地の整備については法令に則り適切な手順にもとづいて事業を推進していると理解をしております。また、もとより条例の審議は常に議員の職責をもって慎重に行っていると理解をしています。また、本条例は既に審議を終えていることから現時点において本陳情の内容を論ずる理由はないことから本陳情の不採択を求めます」という不採択をもとめる委員の態度表明の発言の三番目（下線箇所）の理由です。

陳情の趣旨からして、条例審議の後に陳情審査を行えばこの発言のような形式的な不採択理由が成り立つので、建設委員会は本件陳情審査を

当該条例審議の前に行うべきでした。この「手順前後」により生まれる形式的理由で不採択にするなどは、請願陳情制度の本旨（＊）に反するものです。

（＊）調布市議会のホームページは「請願・陳情」について以下のように記載しています。

「民主主義社会において、住民の意思が政治に反映されるのは当然ですが、行政が複雑・多様化すると、住民個々の意見や要望がすべて行政担当者まで到達することは困難になってきています。このような欠点を補うのが請願制度の役割です。」、また、陳情については「陳情は、法律的な権利として行使されるものではありませんが、調布市議会では、原則として請願と同様に扱います。議員の紹介は不要です。」

また、不採択理由の１番目と２番目についても、９月14日の建設委員会の審議及びその後の経緯を見る限り、「この留保地整備については、公園の公共目的（広く市民のためのものか、一部のプロスポーツ選手や企業のためのものか）、その手続き、市税の正当な支出か、プロサッカー企業との利害関係、調布飛行場等の騒音など近隣住民の住環境への影響、気候危機に逆行する樹林の伐採、人工芝による環境汚染など様々な問題が市民や専門家、調布市環境保全審議会などから指摘、議論されている。その詳細は、パブリック・コメント結果（８月25日公表予定）、7/10、7/11に調布中学校で行われた留保地の土地利用構想説明会での意見及び条例に基づく意見書（未公表）などにあるが、未だ公表されてないものもある。これらを踏まえて「調布市都市公園条例の一部を改正する条例」について慎重な審議をすることを求める。」という陳情第45号の趣旨にどれくらい沿ったものだったか疑わしいと言わざるを得ません。

調布市は、任意の市民説明会を10月16、17日に開催、また、11月６、７日にほっとするふるさとをはぐくむ街づくり条例第22条にもとづく説明会を行いましたが、市民からの質問に対する回答が宿題になったものもあり、十分説明を尽くしたと言い難いし、根拠となるデータも不十分でＥＢＰＭ（エビデンス・ベースト・ポリシー・メイキング。証拠に基づく政策立案）から程遠いものです。また、市民は11月４日に「2026年11月から工事開始！？　調布の６ｈａの緑の森が消える！！！　調布市

とＦＣ東京は、調布基地跡地留保地の拙速な事業計画をストップしてください」という要請署名6415筆を調布市長に提出しています。さらに、メディアにおいても以下のような問題を報道しています。

①　東京新聞　2026年10月23日「調布基地跡地整備、市が説明会　環境や財政負担に懸念の声　28年度の供用目指し来月から整地工事」
https://www.tokyo-np.co.jp/article/523375

②　朝日新聞　2026年１月19日「ＦＣ東京の練習拠点、調布の基地跡地に整備へ　公金負担に疑問の声も」
https://digital.asahi.com/articles/ASV1H4HPHV1HOXIE034M.html

③　朝日新聞　2026年10月29日「ＦＣ東京の練習拠点に懸念の声　調布基地跡地、樹木伐採に批判相次ぐ」
https://digital.asahi.com/articles/ASVBW3QV7VBWOXIE01FM.html

④　ＹＯＵＴＵＢＥ【横田一の現場直撃　Ｎｏ.397】49分43秒頃から約13分　「（略）◆調布で国有林伐採計画　20261109」
https://www.youtube.com/watch?v=X7Ei-rr6S-E

⑤　ＹＯＵＴＵＢＥ【横田一の現場直撃　Ｎｏ.398】43分30秒頃から約18分　「（略）◆調布の森、伐採の危機　20261116」
https://www.youtube.com/watch?v=e9BFIUuLNf0

以上のように、主権者たる調布市民の代表である市議会は、二元代表制のもとにある議会の役割をしっかりと認識して、市長提案の「拙速」との批判のある計画をチェックするために、市民による陳情を蔑ろにせず、今後の陳情審査を適時適正に行うことを求めます。

以上について陳情いたします。